

関係者ヒアリング結果概要【電気・電子情報関連産業】

- 1 日時
平成30年11月9日（金）16時30分～17時10分
- 2 対象者
一般社団法人電子情報技術産業協会
- 3 場所
東京都千代田区大手町1-1-3 大手センタービル5階
- 4 対応者
法務省，経済産業省
- 5 内容
 - (1) 人手不足の現状について
 - 自動車の電子化等により，電気・電子情報関連産業の需要は高まっており，それに伴い，国内の当該産業の人手は不足している。
 - 有効求人倍率も，全体平均1.5倍に対し，電気・電子情報関連分野においては2～3倍となっている。
 - 実際の製造については，製造ラインを構築して，機械メインの作業を行っているが，その製造ラインを管理するために人が必要となり，その人数が足りていないと聞いている。
 - 製造ラインで製造を行うのがメインではあるものの，作業工程上，手作業で行わざるを得ない部分もある。
 - (2) 地域差について
 - 具体的に何名という数字は分からないが，地方においては，人手が足りていないと言っている企業がいる。
 - (3) 特定技能1号に求める業務及びその技能レベルについて
 - 特定技能1号に求める技能レベルは，技能実習2号修了程度の技能レベルになると思われる。
 - 製造ラインの業務を踏まえれば，現時点で特定技能2号までの熟練した技能は必要とせず，特定技能1号程度の技能レベルで足りるものと考えている。
 - (4) その他
 - 不況時の対応について，リーマンショックほどの急激な経済状況の悪化が起こった場合，各社がそれぞれ必要な対応をとっていくのではないかとと思われる。